

# 長野市公文書館便り



●発行日：平成 31年(2019)1月18日 ●発行：長野市公文書館

## 古文書紹介 ②



①  
新年あけましておめでとうございます。いよいよ平成最後の年が始まりました。ところで、みなさん初夢は見ましたか？  
今回紹介するのは若林勅滋収集資料から①「一富士二鷹三なすび」(古37-1-F-1)(明治40年)、②「富士、鷹、なすびと松(略暦付)」(古37-1-J-5)(明治37年)の「引札」です。引札とは、店や商品の広告、宣伝に用いたピラウのことで主に正月に配られたと思われる、そこには初夢に出てくると縁起が良いと言われる物が描かれています。  
他に「あびす様」「鯛」「鶴」等が描かれている物もあり、とても鮮やかで、また暦や相撲番付が入っている場合もあることからカレンダーやポスターのように使われたのかも知れません。  
若林勅滋収集資料(古37)には、このようにお洒落な引札や写真、絵葉書等が300点あまりあります。きれいな箱や袋は大切にしておくといいですね。折に触れて紹介していきたいと思っております。  
因みに、初夢の謎、四から先はご存じですか？(答は、)



【公開資料】  
・「鈴木和子文書」(古文書39点)・「松橋家文書」(古文書200点)・「吉原儀圃文書」(古文書18点)  
・「山崎晴樹文書2」(古文書128点)・「中島彦四郎文書」(古文書37点)・「北村門之丞文書」(古文書200点)・「児島政雄文書」(古文書33点)・「豊野町誌関係文書」(古文書39点)  
・「鬼無里村役場文書3」(旧役場文書827点)  
・図書目録を更新しました。

【活動記録】  
・10/11 安茂里公民館へ出張講座  
・10/30 上田市役所職員3人視察  
・10/31 鬼無里村役場文書3 827点並び替え  
・11/1.8 長野市立長野高等学校出張講座  
・11/30 豊野公民館、公文書館見学

(\四扇五煙草六座頭 しせんごたばころくざとう だそうです)

### 平成30年度 長野市公文書館講演会

## 「長野の出版文化

### -歴史と人、そして今-

酒井 春人 氏(龍鳳書房代表取締役)

平成30年10月19日、講師酒井春人氏に標記テーマで、わが国を代表する出版人を多数輩出し、現在も20数社が出版活動を営む長野県の出版文化について、出版界の歩みと偉大な先達、地方出版と電子書籍時代の出版等を通してお話しいただきました。概要は以下の通りです。

#### 第1部 信州人と出版

日本の出版界を牽引してきたのは岩波茂雄(岩波書店)・古田晁(筑摩書房)・小尾俊人(みすず書房)・大和岩雄(大和書房)・小宮山量平(理論社)など信州人でした。出版人が多い要因として、まず四季の移ろいが明確な自然風土、古代史の多くの舞台となった風土が、創造的・思索的な人間や理想を追求し批判的な精神を養う人間を形成してきたことを指摘することができます。2つ目は長野県教育。幕末期の信濃国の寺子屋数は全国一で多くの農民層が学んでいたこと、明治になり全国に先駆けて学校教育に力を注ぎ近代教育を進めたことです。

長野県出版界の主な歩み  
①江戸時代、林子平は自分で版木を彫り『海国兵談』を出版して考えを広めたが、同様に県下の明治期の自由民権運動家達は書籍・新聞・雑誌を盛んに発行し意見を表明した。  
②教師の全県的組織である信濃教育会は、各支会の活動で郷土誌に関し広く研究し、盛んに出版活動を展開した。  
③飯田市の山村書院は地方出版社の先駆けとされ、出版を通じて権力に迎合しない気高い思想を貫いた。  
④昭和20年誕生の長野自由懇話会は、民主化推進のため信濃毎日新聞社学芸部の協力を得て講演・映画・演劇等の活動をした。  
意見を表明する手段としての出版や新聞を通して、きまじめで一生懸命である長野県人の性格が東京の出版社にも影響を与えてきたと考えられます。

#### 第2部 今日の出版事情

近年、全国の出版社数・売上高は減少の一途をたどり、電子書籍もコミックが8割余り。硬い本(ノンフィクション・小説など)は売れていません。地方出版社は出版物により大きく3つに分けられます。①当地観光ガイド②郷土史・偉人伝③題材は地方にとるが普遍的テーマを持つ本などの出版です。  
私は『検証松本サリン事件報道』等の出版を手がけてきました。テーマは普遍的でいつの時代にも通用する人間の生き方の根本に迫るものでありたい。社会の要請を書籍・雑誌を通して訴え、常に権力を監視する言論人としての矜持を持ち出版人の役割を果たせればと思っています。

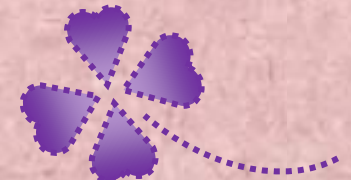
ネットなど情報化の時代では、情報の真実性を読み解く力が必要です。また、人権やプライバシーを守ることが求められています。  
新聞や書籍は多面的に情報をとらえることができ、知識・教養として蓄積され、知識人が育成されます。そのような役割を果たすことができる本が「良書」であり、後世に残ると思っています。

そして、理想実現に向けて学んだ人々が世の中を動かしていきます。本を読む、新聞を読む、特に歴史分野の読書は未来を生きていく私たちの生き方の核になることでしょう。

そういう本をこれからも作っていききたいと思います。



# 公文書館が移転します!



長野市公文書館は、建物の老朽化と周辺地域一帯の再整備計画に伴い若里へ移転することになりました。そのため今年**3月31日**をもって一旦休館させていただきます。休館中は、書籍の販売のみ**5月31日**まで行います。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒、ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。  
なお、移転先の開館日は、2019年11月下旬を予定しております。詳細につきましては、追ってお知らせいたします。

**長野市公文書館**  
所在地 長野市箱清水一丁目3-8 長野市城山分室内(〒380-0801)  
電話 026-232-8050 F A X 026-232-8051  
H P http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/  
又は **長野市公文書館** で検索  
E-mail shomu-9@city.nagano.lg.jp  
開館時間 午前9時~午後5時(閲覧申込みは午後4時30分まで)  
休館日 土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日  
年末年始(12月29日~1月3日)

**こんなときにはご相談ください。**

☆古い土蔵などを取り壊すので、古文書や古い写真等の所蔵資料を寄贈・寄託したい。  
☆所蔵資料の保存・活用を図り、後世に伝えたい。

## 城山分室時代 11年のあゆみ

長野市城山分室に平成19年(2007)11月20日オープンした長野市公文書館は、11年目を迎え、2019年度中に長野市若里(元フルネットセンター)への移転が決まりました。今回のパネル展は、「城山分室時代11年の軌跡」(10月7日～21日)と題して、これまでの事業を振り返る展示を行いました。

今号では、パネル展の「公文書館のあゆみ」と『市誌研究ながの』の「長野市公文書館のあゆみ」を参考に改めて城山分室時代の年表を作成し掲載しました。

## 長野市誌編さんから平成30年までのあゆみ



←長野市城山分室



開館セレモニー→

## ■市誌編さんから公文書館設立まで

- 平成3年11月15日 長野市誌刊行委員会を設置
- 平成4年4月1日 市誌編さん室を設置、編さん事業を開始
- 平成6年2月1日 市誌編さん室、『市誌研究ながの』第1号発行
- 平成9年10月16日 市誌編さん室、『長野市誌』刊行開始
- 平成17年3月31日『長野市誌』全16巻を刊行し市誌編さん事業終了
- 平成17年4月1日 市誌編さん室を引き継ぎ公文書館準備担当を設置

## ■平成19年(2007)

- 4月6日 庶務課法規担当と公文書館条例・同施行規則の打ち合わせ
- 26日 開館行事・公文書館条例・同施行規則等の検討
- 5月9日 国文学研究資料館「松代真田家文書」撮影
- 6月27日 **長野市公文書館の設置及び管理に関する条例公布**
- 8月23日 **長野市公文書館の設置及び管理に関する条例施行規則公布**
- 9月3日 利用案内・図書・設備・レイアウトなど開館に向け準備
- 11月20日 **開館式典・記念講演会・パネル展(長野市のあゆみ～30日)**

## ■平成20年(2008)

- 6月10日 鬼無里支所・旧鬼無里村役場文書の調査と搬出
- 27日 長野県史料保存活用連絡協議会総会・研修会、当館で開催
- 9月28日 長野市公文書館開館1周年記念第1回古文書講座開催
- 10月3日 資産税課より航空写真4ケース移管
- 11月12日 長野市公文書館開館1周年記念パネル展(～19日)  
テーマ「善光寺の今昔と信仰の広まり」
- 19日 長野市公文書館開館1周年記念講演会  
講師 信州大学教育学部教授 牛山佳幸氏  
(講師の肩書は当時、以下同)  
演題 「平安時代の善光寺をめぐる―  
―霊場寺院への発展とその背景―」
- 21日 長野市公文書館1周年記念パネル展(市役所2階ロビー)
- 12月16日 ちよつ蔵おいらい館パネル展示(同じテーマで)



開館1周年記念講演会  
牛山佳幸氏



## ■平成21年(2009)

- 3月17日 行政刊行物目録化・配架完了
- 4月7日 ちよつ蔵おいらい館パネル展示「明治期の長野市域の発展」
- 18日 長野市有線放送電話共同施設協会の定期放送開始
- 28日 国立公文書館専門官 視察に来館
- 5月26日 大岡支所より『大岡村誌』編集時の資料コピー等移管搬入
- 6月17日 芋井公民館所蔵資料の調査
- 8月7日 建築指導課より篠ノ井支所関係写真移管
- 9月27日 古文書講座開催



古文書講座

- 11月15日 長野市公文書館開館2周年記念パネル展(～20日)  
テーマ「真田幸貫と松代藩」
- 20日 長野市公文書館開館2周年記念講演会  
講師 岐阜大学名誉教授・岐阜市立女子短期大学長 松田之利氏  
演題「真田幸貫と松代藩―藩祖顕彰と軍制改革を中心に―」

## ■平成22年(2010)

- 1月31日 ホームページに資料目録および同検索システム導入
- 2月2日 「真田幸貫と松代藩」パネル展 ちよつ蔵おいらい館(～25日)
- 4月1日 伺去区有文書 市立博物館より移管・寄託完了
- 6日 松代地震センター文書移管
- 7月9日 「長野市公文書館だより」第1号発行
- 8月11日 中千田区有文書 区より寄託
- 9月1日 長野市公文書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正、公布
- 12日 古文書講座「善光寺の政治」
- 10月6日 旧豊野町役場文書 目録完成
- 11月14日 パネル展 テーマ「松代地域における近代化にかかわる諸相」(～19日)
- 19日 長野市公文書館開館3周年記念講演会  
講師 信州大学名誉教授・長野県短期大学長 上條宏之氏  
演題 「松代地域における近代化にかかわる諸相」



←「長野市公文書館だより」  
第1号発行



『市誌研究ながの』→

## ■平成23年(2011)

- 5月21日 『長野市民新聞』に「探究ながの史」連載開始
- 6月21日 旧信州新町役場文書の資料調査
- 8月3日 芋井郷土資料室運営委員会所蔵文書を寄託
- 9月8日 筑波大学人文社会科学部研究科の学生16人が見学
- 10月17日 長野市公文書館開館4周年記念パネル展(～21日)  
テーマ「今に伝える善光寺地震」
- 18日 長野市公文書館開館4周年記念講演会  
講師 信州大学副学長 赤羽貞幸氏  
演題 「善光寺地震に学ぶ―震災の特徴と発生メカニズム―」
- 11月2日 旧豊野町役場資料(旧豊野町歴史資料館)の移管
- 22日 栗田町内会所有文書の寄託
- 12月6日 長野市立後町小学校の資料調査(閉校のため)
- 13日 田子区有文書の寄贈手続完了



開館4周年記念講演会  
赤羽貞幸氏

## ■平成24年(2012)

- 4月11日 旧中条村役場文書を移管
- 5月11日 小布施町教育委員会職員他視察(14人)
- 10月14日 長野市公文書館開館5周年記念パネル展(～21日)  
テーマ「善光寺周辺の句碑散策」
- 19日 長野市公文書館開館5周年記念講演会  
講師 清泉女学院大学教授 玉城司氏  
演題「カラスをめぐる風雅―芭蕉・蕪村・一茶の世界―」

## ■平成25年(2013)

- 3月6日 檀田区有文書の寄託
- 5月10日 旧西条村文書他の寄贈
- 7月23日 ポスター展「戦時下の防空徹底強化ポスター」  
ちよつ蔵おいらい館
- 10月11日 パネル展 テーマ「今に伝える善光寺地震 その2」(～20日)  
18日 長野市公文書館講演会  
講師 前長野市公文書館専門主事 鬼頭康之氏  
演題 「善光寺地震と町・村」
- 11月11日 信州新町旧村役場文書の公開



戦時下の防空徹底強化  
ポスター展

## ■平成26年(2014)

- 3月19日 旧信州新町役場文書公開
- 4月18日 『豊野町誌』編纂使用史料の移管
- 10月11日 パネル展 テーマ「未来につなげる文書遺産」(～19日)  
17日 長野市公文書館講演会  
講師 長野市立博物館係長 原田和彦氏  
演題 「真田家文書の特徴について」  
―埴科郡東条村相沢家文書を手がかりとして―
- 11月12日 旧大岡村役場文書の移管
- 12月3日 旧戸隠村役場文書の移管



公文書館講演会  
原田和彦氏

## ■平成27年(2015)

- 5月20日 旧鬼無里村役場文書の移管
- 5月27日 城東小学校4年生、郷土学習で来館
- 7月6日 電子文書の移管に関する研究協議
- 23日 防災科学技術研究所職員来館  
松代地震センターから移管文書の管理状況他につき協議
- 8月20日 南俣区有文書・清野小学校文書の移管
- 25日 東福寺区有文書の移管
- 27日 旧柵村役場文書の移管 戸隠地質化石博物館より
- 9月10日 市立長野高校 地歴選択授業の講師担当
- 11日 市立長野図書館の資料移管
- 10月9日 パネル展 (～18日)  
テーマ「戦後70年 15年戦争下の長野市民」
- 16日 長野市公文書館講演会  
講師 松代文化施設等管理事務所係長 降幡浩樹氏  
演題 「真田家の歴史―戦乱から泰平へ―」



←城東小学校4年生  
郷土学習で来館



パネル展→  
戦後70年 15年戦争下の長野市民

## ■平成28年(2016)

- 2月13日 トイゴ広場「平和を楽しむ日」にパネルを展示
- 3月28日 旧大岡村役場文書の公開
- 4月15日 長野市インターネットテレビ番組  
「ふるさと長野 ―カイク君の歴史探訪―」制作開始
- 8月2日 パネル展「戦後70年 15年戦争下の長野市民」  
ちよつ蔵おいらい館(～14日)
- 9月24日 「公文書館資料でみる市町村と人々のあゆみ」  
『長野市民新聞』で連載開始
- 10月16日 パネル展 テーマ「松井須磨子とその時代  
明治末から大正時代の長野」(～30日)
- 21日 長野市公文書館講演会  
講師 宮坂勝彦氏(松井須磨子研究家)  
演題「松井須磨子とその時代」



公文書館講演会  
宮坂勝彦氏

来館者1万人達成



## ■平成29年(2017)

- 3月3日 市制120周年 年表作成協力
- 16日 来館者1万人達成
- 28日 「ふるさと長野」10巻まで完成、市役所ホームページへ
- 4月18日 篠ノ井市民会館の資料移管
- 5月11日 更北支所・三輪支所の文書移管
- 6月23日 豊野町役場文書3の公開
- 8月8日 旧保科村役場文書の移管
- 9月22日 「長野市公文書館便り」(32号)発行
- 27日 焼失した県宝「松田家住宅」の資料整理  
千曲市歴史文化財センター 29日も
- 28日 公文書館見学 みどりの見学 32人
- 10月6日 パネル展 テーマ「市制120周年に寄せて」(～22日)  
―長野市の歩みとひろがり―
- 15日 講演会 ふるさとアーカイブ 長野の社寺建築と彫刻  
講演1 「宮大工と社寺建築」(宮澤政太氏)  
講演2 「宮彫師・山崎儀作」(草間律氏)
- 11月14日 松代地震センターの資料移管
- 12月12日 城山小学校文書の移管

パネル展  
市制120周年によせて→

